

近鉄大和高田駅・JR高田駅周辺地区まちづくり基本構想



■ 大和高田市のまちづくりについて

【まちづくりの方向性】
中心市街地に行行政、医療・福祉、商業機能が集約している地域性を活かしながら、市全体の利便性を向上させ、地域の活性化につなげる。

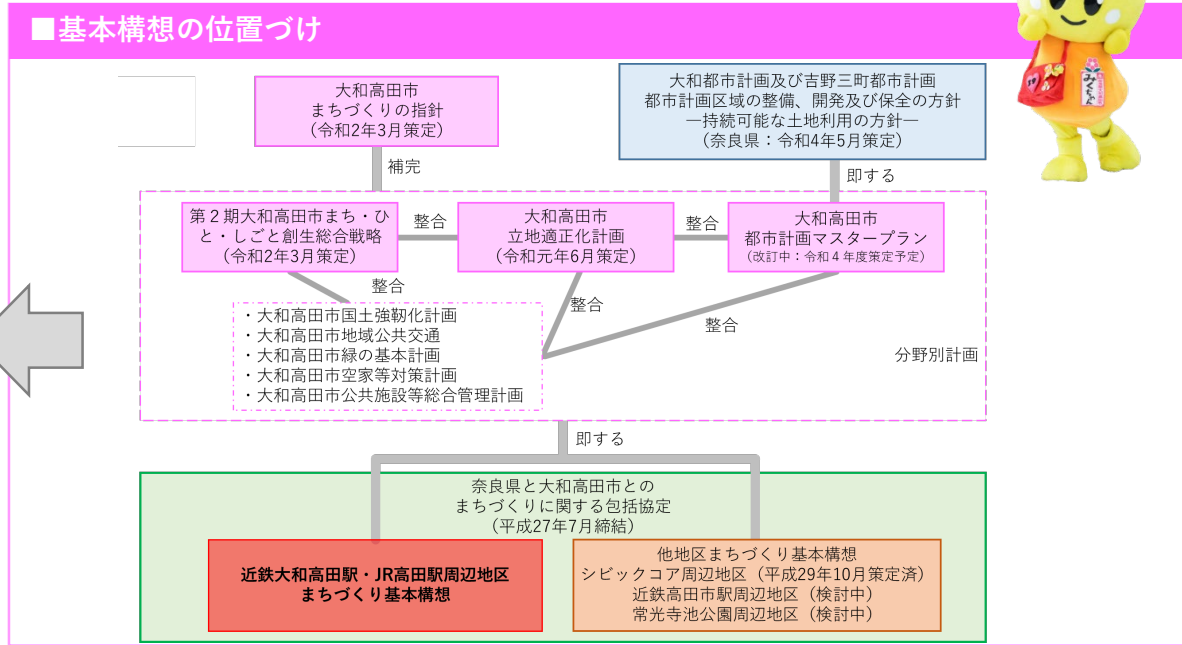
（２）近鉄大和高田駅・JR高田駅周辺地区のまちづくり

【まちづくりのコンセプト】

- 県中西部地域の拠点駅にふさわしい駅前空間づくり
- 市の中心拠点として活気とにぎわいのある魅力的な周辺市街地づくり

【検討予定の基礎となる取組】

- 公有地を活用した駅前の再構築
- 既存商店街の活性化
- 近鉄大和高田駅とJR高田駅間のアクセスの向上



近鉄大和高田駅・JR高田駅周辺地区まちづくり基本構想のストーリー（案）

対象地区の現状整理
✿ 当該まちづくりの予定対象エリアには、比較的まとまった公共用地が複数存在する。●
✿ 総合体育館・武道場、幸町公園、県産業会館など公共施設の利用が少ない。㊦㊧
✿ 対象地区には、空き家や空き店舗等が存在する。 （市中心地区の空洞化＝吸引力の低下）●㊦
✿ 対象地区には、個性的な劇場、商店、銭湯、歴史的施設の顕彰碑などの地域資源が点在する。㊦
✿ 近鉄大和高田駅・JR高田駅周辺には商店街がそれぞれにあるが、その利用は多くない。㊦㊧
✿ 近鉄大和高田駅とJR高田駅との間は、歩道橋や橋上駅による上下移動、複雑な交差点などがあり、移動しにくい空間となっている。㊦
✿ 駅へのアクセスでは、歩行者と自転車の交通が分離されておらず、歩行者の安全性が確保されていない。㊦
✿ 駅や対象地区へのアクセス手段は、徒歩や自転車・バイクの利用が比較的多く、公共交通の利用が少ない。㊦
✿ 駅の利用は、近鉄大和高田駅が多く、JR高田駅が少ない。 これには、運行頻度の差が感じられている。㊦㊧
✿ 対象地区には、商業施設や医療・福祉施設があると、今までより利用すると考えている。㊦
✿ イメージの変化が対象地区の利用促進につながると考えている。㊦

まちづくりのコンセプト

県中西部地域の拠点駅にふさわしい駅前空間づくり
市の中心拠点として活気とにぎわいのある魅力的な周辺市街地づくり

将来像：“にぎわいと活気”のある○○（仮）

課 題	方向性➡ 基本方針へ)
課題 1：	方向性：
課題 2：	方向性 2：
課題 3：	方向性 3：
●	●
●	●
●	●

拡大版(基本構想の位置づけ)

